

社会福祉法人清水福祉会 平成 30 年度事業報告

I はじめに

平成 30 年度は、1 歳児が進級児 8 名、新入園児 2 名、育休予約 1 名の 11 名枠にしたため、0 歳児は継続児 1 名、新入園児 8 名（育休予約含む）の 9 人枠となりました。2 歳児は 3 号認定の新入園児の希望が多く部屋面積上最大の 13 名としました。1 号認定の満 3 歳児希望者が増え、教育上 2 歳児クラスが望ましいのですが、部屋面積上無理なので、3 歳児クラスに入ることを了解の上で 3 名入園しました。

正規保育教諭は、教育目標「自律した子ども」を目指して保育・教育を行っている 9 つの保育園・認定こども園の研修グループ「わかば保育実践研究会」で毎月研修を重ね、さらに年 2 回のセミナーでは公開保育、講演、実践発表などで、保育の質の向上に努めています。非正規保育教諭は、セミナーには必ず参加し同じ目標意識をもって保育・教育を行ってもらえるようにしています。

【平成 30 年度の具体的な保育のねらいと評価】

- 日々の子どもの発達状況に応じて、「できるだけ子どもにできることは子ども自身にさせる」「子どもにできそうなことはチャレンジさせる」「子供同士の関わりを深め、みんなで遊べる力を育てる」
- 子どもが最も興味を持ち、考え、成長する機会である「あそび」「生活」を通して、子ども達同士の相互作用を促しながら、子ども自身で考えることを励まし、情緒的・知的・社会的・道徳的に自律していけるよう援助します。
- 子どもたち一人一人に愛情を注ぎ、保護者と綿密な連携を図り、相互の信頼関係を築くことによって、園と家庭が協力して子どもたちの成長を支え、その喜びを共有し、保護者の養育に対して適切な支援をします。
- 先生は子どもの発達について研修を重ねて理解を深め、さらに子ども達の成長を援助するためにどのような手立てや言葉かけ、教育内容が必要であるかを研究し、学び、日々の保育や教育に活かします。
- 園の機能や保育教諭の専門性、技術を生かし、地域の子育て家庭に対して交流の場を提供し、子育て相談や助言などの支援を行います。

*上記のねらいに対する評価

- ・発達障害のある子、活発で課題のある子によく手をかけているが、消極的な子へのアプローチをもっとしてほしい。
- ・先生が増えて子どもへのかかわりも増えているが、副担任との面識が薄いので、関りを深める機会があればいいと思う。
- ・在園時の園庭開放は 5 時までだが、夏場は 5 時以降のお迎えの家庭のために伸ばしてほしい。
- ・子どもへの交通訓練や避難訓練はされているが、保護者への啓発をもっとしてほしい。

●保護者の就労や家庭の状況にかかわらず、どのような状況の子どもさんも多様に受け入れ良質な教育・保育を提供できるこども園として今後も運営に努めてまいりたいと思います。

II こども園の運営

(1) 園児数 (平成 30 年度)

(名)

利用定員		月平均		3月の年齢別内訳								
				5歳児		4歳児		3歳児		2歳児	1歳児	0歳児
1号	2,3号	1号	2,3号	1号	2号	1号	2号	1号	2号	2,3号	3号	3号
15	60	13	69	5	13	3	12	6	13	13	11	9

(2) 保育時間

開園時間	保育時間			延長保育
	標準	短時間	1号	
7:15~19:15	7:15~18:15	8:30~16:30	9:00~13:00	18:15~19:15

*1号の預かり保育は14:00~17:00

*2,3号短時間児延長保育は17:00~19:15

*土曜日延長保育なし

(3) 子どもの健康管理

子ども一人ひとりの発育発達の個人差を考慮しながら、健康な生活習慣を身に付け、豊かな成長が遂げられるよう積極的に次の点に取り組みました。

[1] 保育中の健康管理 (体温等健康チェック)

[2] 病気の予防と早期発見 (感染症対策、予防接種等)

[3] 安全と事故防止 (安全点検、安全教育、ヒヤリハット事例検討等)

[4] 健康増進と保健指導 (家庭と連携し生活リズムの確立、戸外での運動遊び等)

[5] 環境衛生 (水質検査、園内清掃、消毒、玩具の衛生管理等)

[6] 園児健康診断 (内科・歯科 4月と10月実施)

(4) 安全管理

交通安全教育 (年間1回福山市に依頼、全園児に毎月指導)

非常災害時の避難訓練 (月1回以上実施)

防災指導 (紙芝居等教材を使用して実施)

(5) 実施した主な行事 (園行事・保護者会行事・職員研修)

*別紙参照

III 自主事業

(1) 一時預かり事業 (一般型)

本園は利用定員に余裕があるときに受け入れを行い、延べ104人受け入れました。

(2) 一時預かり事業 (幼稚園型)

在園している1号認定14人中12人が利用しました。平日の午後2時~5時だけでなく、早朝の7時15分~8時30分、夏休みなどの長期休暇中も併せて、延べ1009人の利用がありました。

IV 地域貢献活動

(1) 地域の子育て家庭への育児支援

① 園庭開放

*原則毎週2日の園庭開放を行い、その時に担当職員がついて育児相談を受けました。

② 育児講座

*参観日に行っている「子育て広場」の講演に参加してもらいました。

(2) 地域の環境整備

*道路の溝掃除・草取り（年間2回）

(3) 地域の活動への参加

*町内の文化祭で作品展示

*地域中学生職場体験実習の受入れ

V 職員の配置状況

平成30年度は、9月に非正規職員1名雇用しましたが、職員の退職はありませんでした。一人一人の子どもに応じた援助や手立てができるように、一人担任のクラスにも可能な限り補助の保育教諭を配置しました。

VI 職員の健康管理

職員健康診断 年1回

細菌検査 年3回

*給食担当者、0歳児担当者は毎月

ノロウイルス検査 年6回（給食調理担当者10月～3月）

VII 職員会議

- ・職員全体会議 定例会毎月1回 その他臨時会（随時）
- ・食育会議 毎月1回
- ・その他議題により随時開催

VIII 研修

別紙「2018年度事業報告」参照

IX 退職・福利厚生

- ・福祉医療機構退職共済制度加入